

窓

京都新聞 令和元年（2019年）12月25日（水）

W杯 日本文化伝えられた

亀岡市・桑原 怜夢（大学生・22）

今年は日本でラグビーワールドカップ（W杯）が開催された。各国の代表選手たちが国の威信をかけて熱い戦いを繰り広げ、目が離せなかった。そのW杯の関連ニュースを見ていて、とてもうれしいニュースを見つけた。

それはニュージーランドの選手が試合終了後、スタンドの観客に向けてお辞儀

をした話だ。日本では当たり前前の出来事かもしれないが、外国ではそうではない。ニュースを読んでいくと、お辞儀という日本の文化に感動し、リスペクトの意味を込めて行った行為だという。

私はそこに日本人としての誇りを感じた。何気ない当たり前の日本の文化が世界で認められた気がしたからである。

こういった世界大会は日本の文化を知ってもらえる機会なので、日本の良さをしっかり伝えられたらなと思う。そして来年の東京五輪につなげてほしい。

※無断転載不可